

## CRO 健康長寿社会に寄与する核医学治療の評価法の確立に貢献

イーピーエスは「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム (OPERA) <sup>※1</sup>」において量子<sup>※2</sup>を用いた医療応用技術を開発するプロジェクト「量子アプリ共創コンソーシアム (QiSS)」に参画します。QiSSはQOLの高い健康長寿社会の実現を目指すもので、そのなかでイーピーエスは核医学治療に用いる「放射性薬剤の取扱安全基準の構築」を目的とした研究開発課題に取り組みます。

高いがん細胞破壊効果が期待される核医学治療において、QiSSでは、治療時間が短くて済む放射性同位元素 (短寿命核種) の活用を検討しています。その実現に向けて、同元素の取扱安全基準の確立に先駆的に取り組んでいきます。

※1 国立研究開発法人科学技術振興機構の産学連携による共同研究を推進するための支援プログラム

※2 物理量の最小単位。本コンソーシアムでの対象は放射性核種・中性子・ミューオンなど

## CRO 国立研究開発法人の事業に共同研究機関として参画

イーピーエスは、2017年10月に「医療情報戦略室」を新設し、データ活用事業を開始しました。その一環として、国立研究開発法人日本医療研究開発機構の研究事業「希少難治性疾患克服のための『生きた難病レジストリ』の設計と構築」に京都大学の共同研究機関として参画し、難病プラットフォーム<sup>※1</sup>の基盤構築、希少難治性疾患のレジストリ<sup>※2</sup>研究を支援します。

ビッグデータ解析によるイノベーションが注目されるなか、医療分野では医療情報データベースや患者レジストリデータの活用が喫緊の課題となっています。イーピーエスはデータ活用サービスを広く提供することで、日本の医療の発展に貢献していく考えです。

※1 難病治療の追究を目的として研究者・医師・患者など関係者全員が参加するシステム

※2 患者の疾患、治療内容、経過などを管理するデータベース

## GR 海外展開の強化に向けて米国CRO事業会社を買収

米国のグループ会社であるEPSアメリカを通じ、米国でCRO事業を展開するMedelis社を2018年4月に完全子会社化しました。がん領域に強みを持つ同社は、特殊性・複雑性の高いがん免疫の分野で多くの実績を有しています。

同社を迎え、当社グループは米国にCRO拠点を獲得するとともに、治験薬開発が進むがん領域でのサービスソリューションを強化し、グローバル治験の受注拡大を目指します。